

第19号

定価1年間300円
組合員の購読料は
組合費に含む



発行 檜山教職員組合

〒043-0056 江差町字陣屋町 86-1
Tel 0139(52)0858 FAX (52)1490
発行責任者 石橋英敏
E-mail: hiyamakyoso@proof.ocn.ne.jp

ここ檜山も、平均が過労死ライン！

時間外勤務時間79時間50分／月



26歳の熱血先生の過労死

二〇一一年、大阪の堺市立中学校の理科教諭が出勤前に倒れ、そのまま息を引き取りました。26歳でした。その教諭は、熱血先生と慕われ、「出会えて良かった」と思ってもらえる教員になりたい」と初志を語り、堺市の教員募集のポスターのモデルにもなっていました。バレーボール部顧問として強い使命感の一方、授業や部活指導などに追われた末の過労死でした。堺市は、「再発防止に向け、一層、労働安全衛生対策の推進につとめて参りたい」と述べています。その前にこの教諭を救えなかったのかと考えると同じ教職員として無念です。

檜山の時間外勤務時間は？

世界的に見ても、職種的に見ても、様々な調査からわかるように日本の教職員の時間外労働時間は突出しています。そんな中、ここ檜山管内の時間外労働時間は、どうなっているのか、そして、深

時間外勤務が増える理由と提案の記述欄

- ・ 保護者、児童個別対応に時間が取られる。
- ・ 各教科パーフェクトを求められると厳しい。
- ・ 今は、学力向上に関わる事務的作業（チャレンジテスト印刷、採点、データ入力）が大変。やりがいがある仕事ではないので。
- ・ 何で帰れないのかわかりません。
- ・ ずっと、同じペースで仕事をしているので、これというものは思いません。
- ・ 宿題〇付け、授業準備、頼り、行事準備。③
- ・ チャレンジテスト、宿題などの〇付け。③
- ・ 研究会参加等の準備①
- ・ 子どもの放課後学習を4時までについて、それから明日の授業準備・・・どうしようもないですね。〇付けはほぼ毎日持ち帰り・・・日々の評価には時間がかかります。
- ・ 高学年担任、分掌の部長、仕事の掛け持ち集中、公開授業
- ・ 調査物や提出物（自己目標・学力向上プラン）の多さ



刻な事態になりはしないかという懸念から、大まかに檜山教組として実態調査をしました。この調査は、産業カウンセラー及び労働安全衛生アドバイザーの杉本正男氏指導の下、おおよその時間外労働時間を知るためのものとして作成された調査方法です。今回、檜山管内義務教育学校の一〇四名を数値化しました。

79時間50分（速報値）

これが、檜山の一ヶ月の時間外勤務時間の平均です。この数値は、深刻なデータです。それは、厚生労働省が時間外勤務時間80時間／月を3ヶ月続けると過労死リスクが高まると位置づけているからです。今回の数値は、檜山でも全国的な傾向と変わらず、過労死のリスクが高いということ

物語っています。

校種別にみると、中学校では、83時間40分、小学校は、78時間12分で、やはり中学校が多い傾向にあります。傾向として、中学校は土日の出勤が多く、小学校は持ち帰りや朝早くきての勤務が多い傾向にあります。

4%を1日に換算すると・・・

教員には、給料に、定率4%の教職調整額が支給されています。これは、今から四八年前（一九六六年）の「教職員の勤務状況調査」から「残業時間」の長さを基にして、算出したものです。この4%を月に換算すると、10時間12分、一日だと18分36秒で、一日に20分もありません。

「早く帰って！」では解決できない一やることがあるから、残らざるを

得ないんだよな・・・」。これは、話し合うと必ず出てくる言葉です。調査の中の記述欄（左記）でもたくさん業務に追われている様子がわかります。いずれにしても、「早く帰って」では解決できないことは明らかです。

時間外勤務を話し合う場を！

まずは、労務管理者としての役を担う管理職をリーダーとし、その原因になっていることを出し合い、話し合う職場論議が必要です。もちろん、それだけではなく、青森県のように市町村教育長、校長、PTA、教職員組合も含めた多忙化解消の会議も喫緊の課題です。

檜山教組としても、時間外勤務もふくめ、「人間らしい働き方」を求め、これからも取り組んで行きます

道教組第二八回定期大会 大人目線だけでなく、 子ども目線で学校をとらえる！

全北海道教職員組合（道教組）の第二八回定期大会が三月一日・二日・三日の両日、札幌市内の道高校教職員センターで開催されました。全教から小畑新書記長、道労連から黒澤議長、道高教組からは國田委員長など、多数の来賓を迎えました。檜山教職員組合から四名の代議員が出席し、討論に参加しました。

冒頭あいさつに立った西野誠執行委員長は、今の政治情勢からくる北海道の教育現場を読み解きました。「現場の状況は、生活背景を背負う子どもたちの状況がむき出しになってきている。格差が広がり、家庭の貧困は深刻な状態になってきている。社会に目を向け、『学ぶ権利』『幸福になる権利』『安心して生活できる権利』の運動を広げよう」と呼びかけました。

榎木書記長が経過報告と運動方針提案を行いました。その中で、「こうあらねばならないという大人目線だけでなく、子ども目線で考え、子どもの声をていねいに聴き取り、ともに生きていくスタンスで『子ども論議』を職場で広げようという提起がされました。

檜山教組からは、斉藤晴三代議員（江差支部）が「大人



にとつてムダな時間に見える時間は、子どもの成長発達にとつてムダなのか？」という

ことを投げかけ、子どもの成長発達をどう見ていくのかという視点の重要性を説きました。

同・滝澤圭代議員（上



ノ国支部）は、「できない」「〇か×」「〇点か一〇〇点」といったように、思考の

過程をブラックボックスに入れ、知識だけを問うものでなく、学んだことがすぐに剥落しないように、その子どもがどういう思考で答えを導いたのかということが大切。点数を語る前にそこを論議する必要があると訴えました。

同・遠藤美由樹代議員（女性部）



「女性部アンケート」からわかる女性教職員の働き方の実態や「女性部交流会」「Hugcafe」の取り組みを紹介し、つながりを



深める大切さを語りました。

同・富樫耀代議員（青年部）

全国青年教職員の集いに参加し、視野が広がったことを語り、先入観や固定概念を常に疑って多角的な考えを持つていきたいと語りました。

大会では戦後七〇年を迎え、先達の決意を引き継ぐ「教え子を再び戦場に送らない」の旗をしっかりと掲げ、教育を政治的に支配し、日本を海外で競争する国へ変えようとする動きに抵抗し、共同を広く呼びかけることを確認し、閉会しました。

なお、新執行部は、次の通りです。

- 委員長 川村安浩（空知教組・新）
- 副委員長 新保 裕（道教組）
- 副委員長 古川晃男（全釧路教組・新）
- 書記長 榎木康展（網走教組）
- 次長 中山晴生（檜山教組）
- 次長 内藤修司（宗谷教組・新）
- 執行委員 茶森茂樹（檜山教組・新）
- 執行委員 中山裕一（根室教組）
- 監査委員 秋山みゆき（全石狩札幌）
- 同 白鳥克己（全胆振教組）
- 同 中村賢明（上川教組・新）

スタートラインだ！ 2015 檜山教職員の集い 開催要項

人と一緒に育ち合う仕事だもん！やっぱり人から学ぼう！

- 1 日時 2015年5月9日（土）
13:00～（予定）



- 2 場所

乙部町・リニューアルした天然温泉掛け流し

「光林荘」（予定）

宿 泊/交流会ももちろん光林荘！

・ 講演 笹本裕一さん（釧路管内 興津小学校教諭）

檜山教組新役員紹介

- 委員長 石橋英敏（江差北中）
- 副委員長 茶森茂樹（厚沢部中・新）
- 副委員長 白山 尚（館中）
- 副委員長 青木治真（大成中・新）
- 書記長 中山晴生（南が丘小）
- 書記次長 安里 朗（河北小）
- 監査委員 松尾康成（厚沢部小）
- 会計委員 押見清一（上ノ国小）
- 木村一夫（鶴 小）

執行委員

- 内糸俊男（江差北中）
- 市末成子（湯ノ岱小）
- 遠藤美由樹（今金小）
- 佐藤亮樹（南が丘小）
- 野口真弓（江差小）
- 笹谷 透（上ノ国小）
- 佐竹秀昭（瀬棚中）
- 川瀬雄治（江差小）
- 森 博則（滝沢小）

【所属は、二〇一五年三月三十一日現在です】

よろしくお願ひします。